

Ⅱ 事業

【注意】

西河原公民館図書室の事業については「狛江市公民館の活動の記録(平成 30 年度)」をご覧ください。

1 子どもと子どもの読書活動を支援する人へのサービス

子どもたちが読書の楽しさや喜びを知り、読書する力を身につけるため、子どもの発達段階に応じた資料を選定・収集し提供しています。また、おはなし会をはじめとするイベント事業や各種推薦図書リストの発行、図書展示のほか、小・中学校や学校図書館との連携、子どもの読書活動を支援する大人へのサービスなどを継続して行っています。「第三次狛江市子ども読書活動推進計画」に基づいて、関係部署と連携しながら子どもの読書活動に関する環境整備に努めています。

30年度は、子ども読書の日である4月23日に、子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣賞を受賞しました。この賞は、市民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について優れた実践を行っている学校、図書館および団体・個人を表彰するものです。長年にわたり続けているおはなし会などの読書普及やそれに携わる地域グループとの協力、市内の小・中学校図書館との連携、ブックスタートなどの読書啓発事業が評価され今回の受賞となりました。



<おはなし会>

子ども向けのおはなし会事業は、開館当初から実施しており、子どもと本の出会いをつくる機会として今日まで継続しています。市内のおはなしグループの協力を得ながら、平成9年10月には乳幼児の親子を対象としたおはなし会も開始し、12年度にはさらに対象年齢を分けて回数を増やしました。七夕やクリスマスなど季節のおはなし会や土曜日開催のおはなし会など、さまざまな機会をつくっています。

		子どもおはなし会	親子で楽しむおはなし会		土曜日おはなし会
開催日		毎週水曜日	第2・4木曜日		不定期
対象		4歳から小学生	0・1歳児と保護者	2・3歳児と保護者	幼児と保護者
実施回数		47回	22回	22回	8回(※)
参加人数	子ども	578人	320人	304人	61人
	保護者	305人	322人	237人	48人
	1回平均	12人(子ども)	14組	11組	7人(子ども)

※ただし、土曜日に開催した特別おはなし会は除く(イベント・講座に記載)

＜イベント・講座＞

事業名	日程	内 容	参加人数
科学あそび	8月2日	「磁石のパワーを感じよう」 講師:二階堂恵理氏 (科学読物研究会会員)	16人
子ども図書館員	7月26日・27日 8月10日・16日	「子ども一日図書館員」 貸出・返却業務や図書装備を体験	20人
特別おはなし会	7月11日	「夏のこわ〜いおはなし会」 ゲスト:佐藤涼子氏 (ストーリーテラー)	57人
	12月24日	「ぬいぐるみといっしょのおはなし会」 語り手:図書館職員	12人
	2月23日	「おはなしお婆さんの玉手箱」 語り手:藤田浩子氏 (語り手、幼児教育者)	80人
児童行事 実技講座	① 11月1日 ② 11月15日	「子どもに本を紹介すること」(全2回) 講師:①狛江おはなしの会くーすけの皆さん ②田揚江里氏 (大学非常勤講師)	① 11人 ② 18人
	① 2月9日・13日 ② 2月23日 ③ 2月27日	「図書館おはなし会ボランティア養成講座」(全4回) 講師:①佐藤涼子氏 (子どもと読書のコーディネーター) ②藤田浩子氏 (語り手、幼児教育者) ③小畑信夫氏 (図書館・メディア研究所代表)	① 16人 ② 19人 ③ 17人

子ども読書の日 (4月23日)

4月23日から5月12日まで「こどもの読書週間」として様々な企画事業を実施しています。

科学あそび (夏季)

夏休み中の小学生を対象として、ゲストティーチャーによる簡易な科学実験や科学工作を楽しむ教室を開催しています。テーマに合わせた知識絵本や科学読み物も紹介します。

子ども図書館員 (夏季)

小学校4～6年生を対象に、図書館の仕事を体験するイベントを実施しています。

特別おはなし会

プロの語り手をゲストにお招きして、特別プログラムのおはなし会を開催しています。

児童行事実技講座 (秋冬季)

子どもの読書活動を支援する大人のための講座を実施しています。

◆ 科学あそび

「磁石のパワーを感じよう

～磁石の実験とくるくる回るおもちゃ作り～

[開催日時] 平成 30 年 8 月 2 日 (木)

[開催場所] 中央公民館 美術工芸室

[参加者] 16 人

[講師] 二階堂恵理さん (科学読物研究会会員)

前半は「磁石ってなんだろう?」という問いかけに始まり、磁石にまつわる話を聞きながら、テキストの文章の穴埋めをしました。途中、「簡易型立体磁界観察ボトル」を見ながらスケッチしたり、アルミパイプを立てて磁石を転がし、くるくる回りながら落ちていく様子を観察したりして、磁石のパワーを体験できました。休憩をはさみ、後半は磁石を使った工作をしました。マグネットと紙皿、割り箸、フェルト、色玉(ぼんてん)を使って、小さな動物の顔を作り、反発しあう磁力でくるくる回る様子を楽しみました。同じ材料を使って、それぞれに工夫を凝らしたおもちゃを完成させることができました。



◆ 「クリスマスぬいぐるみおとまり会」

[開催日時] 平成 30 年 12 月 24 日 (月) ～27 日 (木)

[開催場所] 中央図書館 おはなしのへや

[参加者] 12 人

「自分の大好きなぬいぐるみが図書館で夜を過ごし、館内を探検したり、読書したりする」という疑似体験を通じて、子どもたちに図書館や読書活動に興味関心を持ってもらおうという取り組みです。

子どもたちは、まず 24 日に「ぬいぐるみといっしょのおはなし会」に参加し、終了後ぬいぐるみを図書館に預けて帰りました。25・26 日は、図書館で本を読んだり、お手伝いしたりするぬいぐるみたちの様子を図書館員が写真撮影し、27 日にお迎えに来た子ども一人ひとりに、記念のフォトカードとおすすめの絵本をぬいぐるみと一緒に手渡しました。子どもたちは、フォトカードや館内に掲示した写真で、ぬいぐるみたちのおとまりの様子を確認したり、さっそく、ぬいぐるみたちが読んだ絵本と同じものを読んだりしていました。



◆ 児童行事实技講座

「図書館おはなし会ボランティア養成講座」(全4回)

第1回 第2回	<p>「子どもたちと楽しむ絵本の世界 ～絵本の選び方と読み方～」</p> <p>講師:佐藤涼子さん(子どもと読書のコーディネーター)</p> <p>平成31年2月9日(土)・13日(水)午前10時～正午 会場:中央公民館 講座室</p>
第3回	<p>「おはなしおばさんのひみつ ～手遊び・わらべうたの重要性と実技～」</p> <p>講師:藤田浩子さん(幼児教育者、語り部)</p> <p>平成31年2月23日(土)午後2時～4時 会場:中央公民館 視聴覚室</p>
第4回	<p>「図書館ボランティアって、なあに？」</p> <p>講師:小畑信夫さん(図書館・メディア研究所代表)</p> <p>平成31年2月27日(水)午前10時～正午 会場:中央公民館 講座室</p>

まず第1回と第2回は読み聞かせをする上で大切な要素である、絵本の選び方を中心に講義を受けました。公共の場である図書館のおはなし会では、子どもたち皆が楽しく満足感を得られる内容である必要があります。また家庭のなかでの読み方とは違い、子どもたちにとって聞き取りやすい肉声で抑揚をつけず、素直な読み方をするのが大切であること、良い絵本を選べば必ず物語の世界が届くということを講師自身の長年の経験に基づき、お話していただきました。2回目には講師から指名を受けた4人が、実際のおはなし会と同じスタイルで読み聞かせの模擬を行い、その講評を聞くことで参加者が具体的なイメージを共有することができました。



第3回は、おはなしおばさんとして活躍されている藤田浩子さんに、実技を交えながら、わらべうたや手遊びの意義を伝えていただきました。参加者全員で円座になって、童心に帰って手遊びなど楽しむことで、それを実感することができました。最後には、新入学を迎える子どもたちへ向けた折り紙話を語っていただき、各自が羽ばたく鳥を折り、おみやげに持ち帰りました。

第4回は、図書館ボランティアとして活動する上で気を付けたいこと、特にプライバシーを守る大切さ(守秘義務)について講義を受けました。さらに図書館員またはボランティア同士の関わりを円滑にするコミュニケーションの重要性についても改めてご指摘いただき、これからの活動において担当する図書館員にとっても身の引き締まる内容でした。



<図書展示>

季節の行事や子どもたちの身近な事柄をテーマに、関連する絵本や図書を集めたり、それにちなんだ装飾を行ったりして、いろいろな本との出会いのきっかけをつくる企画展示をしています。

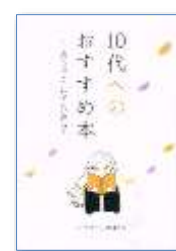
期間	テーマ	設置場所
4/1～4/15	図書館で会える絵本	2階ロビーショーケース
4/4～4/16	入園・入学・進級おめでとう 春の絵本	児童コーナー展示架
4/4～4/23	角野栄子さんの本 国際アンデルセン賞受賞記念	児童コーナーミニ展示
4/18～4/30	図書館で会える絵本	児童コーナー展示架
5/2～6/17	野菜が好きに？なる絵本	児童コーナー展示架
5/16～5/28	追悼特集・加古里子さん	児童コーナーミニ展示
7/1～7/7	七夕のおはなし	児童コーナー展示架
7/11～7/23	うなぎの本	児童コーナー展示架
7/18～9/3	夏休み課題用参考図書	児童コーナー特設
7/25～8/27	戦争と平和を考える子どもの本	児童コーナー展示架
9/5～10/8	空を飛びたい	児童コーナー展示架
10/10～10/30	ハロウィンの本	児童コーナーミニ展示
10/10～11/5	よるの絵本	児童コーナー展示架
11/7～12/24	クリスマスの絵本	児童コーナー展示架
11/14～11/26	ハンディキャップを考える絵本	児童コーナー展示架
1/5～1/14	お正月・いのししの本	児童コーナー展示架
1/16～1/21	藤田浩子さんの本	児童コーナー展示架
1/23～2/11	節分・鬼の絵本	児童コーナー展示架
2/13～3/4	ひなまつりの本	児童コーナー展示架
3/6～3/11	あの日のこと、被災地のいま。	児童コーナー展示架
3/13～4/8	新入学・進級の本	児童コーナー展示架



＜推薦児童図書リストの発行＞

図書館がすすめる本を手にとってもらえるように、紹介冊子やリーフレットを作成し、対象資料の特集コーナーを設置しています。また、発行物は市内図書室や学校図書館などへも配布しています。30年度は秋の読書週間に合わせて、「10代へのおすすめ本」を41冊紹介したリーフレットを発行しました。

タイトル	発行日	内容
このほんしってる？2018 (幼児から小学生まで)	年1回発行	前年に刊行された児童図書や絵本の中から選定して紹介。
Books for you 2018 (中学生から)	年1回発行	前年に刊行された児童図書の中から選定して紹介。
赤ちゃんに贈るファーストブック (0・1・2歳児に読んであげたい絵本)	平成29年6月改訂4版 (平成22年1月初版)	3・4か月健診で実施のブックスタート時に配布。
図書館で会える絵本 (3～6歳に読んでほしい絵本)	平成30年3月改訂2版 (平成22年3月初版)	読み継がれた優良絵本を中心に選定して紹介。
読書のみちしるべ (小学生にすすめる本)	平成30年12月初版3刷 (平成27年3月初版)	読み継がれた基本図書を中心に学年別に選定して紹介。



＜絵本の貸出ベストリーダー10＞

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

順位	タイトル	作者	出版社
1	うめぼしさん	ましま せつこ／絵	こぐま社
2	はらぺこあおむし	エリック＝カール／さく	偕成社
3	ぐりとぐら	大村 百合子／絵	福音館書店
4	ピン・ポン・パス	鈴木 まもる／絵	偕成社
5	11ぴきのねことあほうどり	馬場 のぼる／著	こぐま社
6	ぼく、だんごむし	たかはし きよし／え	福音館書店
7	おばけのてんぷら	せな けいこ／作・絵	ポプラ社
8	うんちしたのはだれよ！	ヴォルフ・エールブルッフ／絵	偕成社
9	おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん	長谷川 義史／作	BL出版
10	やさいのおなか	きうち かつ／さく・え	福音館書店

＜ヤングアダルト (Young Adult) ＞

主に中高生を中心とした若い世代をヤングアダルトと呼び、世代の特性を考慮した資料の収集を行っています。29年度にリニューアルした YA Books コーナーは、隣接の書架にジュニア新書や新聞・雑誌も集めるなどしてさらに利用を促進しています。また、新たな取組みとして、小学5年生から中学生を対象に「YA！週末図書館クラブ」を開始しました。

◆ 「YA！週末図書館クラブ」

本や図書館に興味のある子どもが集まって、日曜日の午前中に、さまざまな活動を行うクラブです。小学校高学年以上の利用率の下がる年齢層を主な対象とし、日曜日に企画することで、平日に図書館を利用する機会の限られる子どもの利用促進を図ります。また、固定の参加者を募り、単発のイベントで終わらせずに、継続してつながりのある内容に取り組むことで、同年代の参加者同士の交流と、図書館員と参加者の親交の機会を作ることを目的とします。



【全7回（いずれも日曜日午前10時～正午）】

実施日	内 容	参加人数
10月21日	オリエンテーション 自己紹介、施設見学、利用案内、今後の活動について	3人
11月4日	製本体験 図書のビニールコート装備とオリジナル読書ノート作り	3人
11月25日	点訳体験 点字名刺作り(協力: 狛江絵本点訳の会コスモスの皆さん)	5人
12月9日	点字パズル&国語辞典比べ	4人
12月23日	ビブリオバトル1 ビブリオバトルって、なあに？	3人
1月20日	ビブリオバトル2 ビブリオバトルに挑戦！	3人
3月3日	ビブリオバトル3 ビブリオバトル第2回戦！	3人



【子どもたちがビブリオバトルで紹介した本】

第1回戦	『真田十勇士 外伝』 小前亮/作 小峰書店
	『トキメキ♡図書館』 服部千春/作 講談社青い鳥文庫
	『西の魔女が死んだ』 梨木香歩/著 新潮文庫
第2回戦	『南総里見八犬伝』 曲亭馬琴/原作 講談社青い鳥文庫
	『モモ』 ミヒヤエル・エンデ/作 岩波書店
	『黄金の雨は知っている』 藤本ひとみ/原作 講談社青い鳥文庫

＜学校図書館への協力貸出＞

市内小・中学校の各学校図書館を窓口に関力貸出を行っています。毎週1回 FAX 受付による貸出依頼のほか、インターネット予約や来館取り置き分を含めた資料の配送も行います。配送は週2回月曜と木曜に学校専用便を運行し、学校間同士の相互貸借にも利用できます。30年度は80回実施しました。

小学校名	狛江第一小	狛江第三小	狛江第五小	狛江第六小	和泉小	緑野小	小学校計
貸出冊数(冊)	457	781	1,052	1,288	1,228	367	5,173
(内学級文庫)	(0)	(0)	(480)	(0)	(360)	(0)	(840)

中学校名	狛江第一中	狛江第二中	狛江第三中	狛江第四中	中学校計	全校計
貸出冊数(冊)	170	1,398	824	251	2,643	7,816

＜職場訪問・職場体験＞

小学校の地域探検や公共施設見学、中学生・高校生が学校を離れて地域の商店や民間企業、公的事業所等の職場で、実際に仕事を体験する事業を受け入れています。図書館では、職場体験の「働くことの意義や仕事の大切さを感じ取る」などの目的が達成できるように支援するとともに、生涯を通じての読書習慣や図書館利用の促進を図ることを目的として実施プログラムを組んでいます。



	学校名	学年	人数	実施日	日数
施設見学	狛江第一小学校	2年生	116人	6月5日	1日
	狛江第三小学校	2年生	68人	9月25日	1日
	狛江第五小学校	3年生	83人	7月5日	1日
職場体験	狛江第一中学校	2年生	3人	11月28日～30日	3日
	狛江第二中学校	1年生	4人	2月5日～7日	3日
	狛江第三中学校	2年生	3人	6月13日～15日	3日
	狛江第四中学校	2年生	4人	7月11日～13日	3日
	喜多見中学校	2年生	3人	9月12日・13日	2日
	国本女子中学校	2・3年生	3人	2月13日・14日	2日
	戸山高等学校	1年生	1人	7月31日・8月3日	2日
大東学園高等学校	1年生	1人	10月26日	1日	

2 読書の楽しさを知るきっかけづくり

<ブックスタート>

ブックスタートとは、赤ちゃんとその保護者が、絵本を介してゆっくり向き合い、心触れあうひとときを持つためのきっかけづくりをすることを目的とした事業です。

狛江市では、司書とブックスタート説明員が3・4か月児健康診査会場でブックスタートを行っています。実際にその場で説明員が赤ちゃんに對面で読みきかせを行い、絵本1冊と絵本リストなどを贈呈します。赤ちゃんや保護者が絵本を見ることが困難であり、点字絵本の希望があった場合は、協会から直接取り寄せるほか、図書館ボランティアを通じて絵本に点字を貼付して対応しています。また外国にルーツを持つ保護者にブックスタートの趣旨を正確に伝えるため、11言語に翻訳された「多言語版ブックスタート紹介シート」を用意しています。30年度は実際に活用する場面がありました。

【ブックスタート配布絵本タイトル】

ブックスタート配布絵本タイトル(内訳)	冊数
『いないいないばあ』(童心社)	140冊
『じゃあじゃあびりびり』(偕成社)	141冊
『くっついた』(こぐま社)	30冊
『がたんごとん』(福音館書店)	152冊
『くだもの』(福音館書店)	20冊
『ぴよーん』(ポプラ社)	185冊

【ブックスタート配布絵本の推移】

26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
677冊	701冊	746冊	704冊	668冊



ブックスタートパック

<セカンドブック・サードブック>

小学校に入学する幼児に対し、読書の楽しさを知るきっかけづくりと、自発的な読書活動につなげることを目的として、セカンドブック事業を実施しています。図書館がおすすめする本の中から一冊を子ども自身に選んでもらい、贈呈をしています。また、28年度からは、中学校へ入学する児童に対して本を一冊贈呈するサードブック事業も実施しており、子どもたちが改めて本への親しみや興味を持ち、心豊かに成長できるような、今後の人生の宝となる本を贈呈しています。



31年4月入学者に対しては全ての本を読んでゆっくり本を選びたい方や贈呈会当日に参加できない方のために先行して、3月8日から申し込み受付と本の贈呈を行いました。さらに贈呈会では来場された方へ読書の楽しみとなるように、好きなモチーフの型を選んでもらい、お気に入りのしおりを作りました。

30年4月に入学した子どもを対象にしたセカンドブック、サードブックの贈呈内訳は次のとおりです。

【30年4月小学校入学者セカンドブック贈呈内訳】

平成30年6月30日最終集計

タイトル	冊数	タイトル	冊数
『ちからたろう』(ポプラ社)	11冊	『なぞなぞのすきな女の子』(学研)	95冊
『こねこのぴっち』(岩波書店)	56冊	『1ねん1くみ1ばんワル』(ポプラ社)	54冊
『ひとまねこざる』(岩波書店)	65冊	『番ねずみのヤカちゃん』(福音館書店)	36冊
『ろくべえまってるよ』(文研出版)	19冊	『ふたりはともだち』(文化出版局)	37冊
『すいかのたね』(福音館書店)	30冊	『ダンゴムシみつけたよ』(ポプラ社)	34冊
『わにのはいた』(大日本図書)	34冊	『ぼく、あぶらぜみ』(福音館書店)	30冊
		合計	501冊

【30年4月中学校入学者サードブック贈呈内訳】

平成30年6月30日最終集計

タイトル	冊数	タイトル	冊数
『考える練習をしよう』(晶文社)	23冊	『精霊の守り人』(偕成社)	29冊
『武器より一冊の本をください』(金の星社)	26冊	『竜馬がゆく 1 立志篇』(文藝春秋)	23冊
『エンデュアランス号大漂流』(あすなろ書房)	19冊	『ねらわれた星』(理論社)	37冊
『素数ゼミの謎』(文藝春秋)	22冊	『よりぬきマザーグース』(岩波書店)	1冊
『生活図鑑』(福音館書店)	63冊	『弟の戦争』(徳間書店)	13冊
『いのちの食べかた』(イースト・プレス)	5冊	『マチルダは小さな大天才』(評論社)	24冊
『ポケット詩集』(童話屋)	3冊	『種をまく人』(あすなろ書房)	3冊
『羅生門 杜子春』(岩波書店)	23冊	『星の王子さま(愛蔵版)』(岩波書店)	28冊
		合計	342冊



セカンドブック対象本



サードブック対象本

3 成人へのサービス

さまざまな成人の利用者の要望に応えるため、資料を選定・提供しています。また、時事や季節に応じた図書展示や事業を行い、読書推進を図っています。

30年度は、ミニ展示コーナーの拡張や、窓際のスペースを活用し、より多くの資料を展示しました。さらに市や公民館で開催する事業に関連した展示や、記念日にちなんだ展示などバリエーション豊かに行いました。またマナーアップキャンペーンでは、職員が手作りしたブックカバーの展示や、クリアケースで作ったカバーをかけての本の貸出しを行いました。

<図書展示>

期間	テーマ	設置場所
4/4～4/30	図書館記念日展示	窓際展示コーナー
4/11～5/14	楽しもう♪音楽♪♪	一般展示コーナー
4/25～5/7	日本のこと英語で説明してみよう	一般展示コーナー
5/2～5/28	食と本～めぐるめくおいしい世界～	窓際展示コーナー
5/9～5/14	追悼 古川薫	一般展示コーナー
5/9～5/28	伊能忠敬 没後 200 年（公民館市民大学関連展示）	一般展示コーナー
5/16～6/17	野菜を食べよう 食育週間関連展示（健康推進課協力）	一般展示コーナー
5/16～5/28	博物館の本（5/18 博物館の日）	一般展示コーナー
5/30～6/11	時の本（6/10 時の日）	ミニ展示コーナー
5/30～6/11	追悼 津本陽	ミニ展示コーナー
5/30～6/17	6月2日はローズの日 花と庭の本(6/2 ローズの日)	窓際展示コーナー
6/13～6/17	もうすぐサッカーワールドカップ開幕	ミニ展示コーナー
6/13～7/23	走り出せ、性別のハードルを超えて、今（男女共同参画週間）	一般展示コーナー
7/1～8/13	七夕と夜空の本	窓際展示コーナー
7/1～7/30	夏に読みたい怖い本	ミニ展示コーナー
7/25～8/27	平和を求めて 2019 ～この 1 年間の受入図書・語り継ぐ戦争	一般展示コーナー
8/1～8/27	縄文 JOMON（ミニ展示・東京国立博物館 特別展縄文関連展示）	一般展示コーナー
8/29～9/17	夏の疲れに効く本	一般展示コーナー
8/29～9/17	敬老の日 読書のすすめ 2018	一般展示コーナー
9/12～10/8	図書館でフレッシュ脳を保とう！	窓際展示コーナー
9/19～10/15	楽しもう秋	一般展示コーナー
9/19～10/15	子どもに本を紹介するということ(児童行事实技講座関連展示)	一般展示コーナー
10/10～11/5	アートな本	窓際展示コーナー
10/17～11/12	短編小説でホッと一息(読書週間 ホッと一息本と一息)	一般展示コーナー
10/17～11/19	10代へのおすすめ本	一般展示コーナー

11/14～12/10	きものの本(11/15 きものの日)	一般展示コーナー
11/14～12/10	図書館マナーアップキャンペーン 2018～自分らしく、おしゃれな、手作りブックカバー～	窓際展示コーナー・市民センターロビー ショーケース
11/21～11/26	家族ってなんだろう	一般展示コーナー
11/28～12/10	障害者週間 2018	一般展示コーナー
11/29～12/10	追悼 勝谷誠彦	ミニ展示コーナー
12/12～12/24	クリスマスのほん	一般展示コーナー
12/12～12/28	年末年始の準備はできた？	一般展示コーナー
12/12～1/7	年末年始、本を読もう！	窓際展示コーナー
1/5～1/14	昔話とふるさとの本	一般展示コーナー
1/9～1/21	笑門来門	窓際展示コーナー
1/16～2/4	フレッシュ脳弁当大募集	一般展示コーナー
1/23～2/18	バレンタイン特集	一般展示コーナー
1/23～3/11	カフェ散歩特集(狛江カフェ散歩スタンプラリー関連展示)	窓際展示コーナー
2/6～3/4	猫本特集(2/22 猫の日)	一般展示コーナー
2/20～3/18	フレッシュ脳弁当 応募作品展示	一般展示コーナー
3/6～4/1	災害に備えよう	一般展示コーナー
3/20～4/8	桜の季節(こまえ桜まつり関連展示)	窓際展示コーナー

<図書館マナーアップキャンペーン>

読書週間に合わせて、図書館資料の利用マナー向上を目的としたキャンペーンを実施しました。

今年度は、「自分らしく、おしゃれな」をテーマにいろいろな素材のブックカバーを展示し、汚れや破れを防ぐ方法を提案しました。また職員が手作りした新書サイズのクリアカバーをかけて貸出しました。

【取組みの概要】テーマ:「図書館マナーアップキャンペーン
～自分らしく・おしゃれな手作りブックカバー～」

期間:平成30年11月14日(水)～12月10日(月)

内容①クリアケースのブックカバーを掛けて貸出し

②さまざまな素材のブックカバーの展示

③キャンペーンリボンの着用



<展示の様子>



5/30～6/17「花と庭の本」



7/1～8/13「七夕と夜空の本」



8/29～9/17「夏の疲れに効く本」



10/10～11/5「アートな本」



11/14～12/10「きものの本」



2/6～3/4「猫本特集」

<発行物>

発行日	タイトル
8月3日	「こまえ図書館だより 第67号」
12月27日	「こまえ図書館だより 第68号」
3月26日	「こまえ図書館だより 第69号」

4 利用支援サービス

中央図書館では、図書館への来館や読書に困難を感じる方を支援するサービスを行っています。利用支援サービスを周知するために、障がい者週間や敬老の日などに合わせて展示を行いました。また職場体験で図書館を訪れた中学生に展示への参加を促し、利用支援サービスの紹介を行いました。

そして録音資料の製作ではボランティアの方に、テキストデータを作成してもらいました。この経験を活かし、31年度からはマルチメディア DAISY 作成に取り組んでいく予定です。

<展示>

利用支援サービス事業の周知とより多くの方の利用促進を図る目的でさまざまなテーマでの展示をしました。そして利用支援サービスでは初めての試みとなる利用者参加型の展示も行い、13名の参加がありました。

◆敬老の日～読書のすすめ 2018～

[展示期間] 平成30年8月29日(水)～9月17日(月)

公益財団法人読書推進運動協議会が作成しているリーフレットを中心に、老後の過ごし方、生き方の秘訣などをテーマにしている資料を集めました。資料の他に、敬老の日に「りんどう」の花を贈ると喜ばれるとされる理由をまとめて掲示しました。折り紙で作った「りんどう」の花は、職場体験生に作ってもらいました。



◆図書館でフレッシュ脳を保とう！

[展示期間] 平成30年9月12日(水)～10月8日(月)

認知症や、認知症予防レクリエーション、認知症の家族やご本人の体験記、そして老年心理学、成年後見制度など認知症を介護する家族向け等の本を集め展示しました。



◆障害者週間 2018

[展示期間] 平成30年11月28日(水)～12月10日(月)

毎年12月3日から12月9日の障害者週間にあわせて、利用支援サービスの取組みの紹介や、バリアフリー資料、読書支援グッズなどを展示しました。本年度は、「LL(エルエル)ブック」「雑誌テルミ」「リーディングトラッカー」を紹介しました。



◆大活字本新刊コーナー

[展示期間] 平成 31 年 1 月 16 日 (水) ~ 2 月 4 日 (月)
大活字本の新刊コーナーを臨時に設置しました。通常下位巻は書庫にありますが、この期間はすべて貸出室内に置いてご紹介しました。



◆フレッシュ脳弁当大募集

[募集期間] 平成 31 年 1 月 16 日 (水) ~ 2 月 4 日 (月)
[応募展示期間] 平成 31 年 2 月 20 日 (水) ~ 3 月 18 日 (月)
図書館で目的の資料を探すことや、彩りや味のバランスを考えながらお弁当をつくることは認知機能に良い影響を与え、脳を刺激すると言われています。図書館を脳活する場としてご利用していただき、「フレッシュ脳弁当大募集」と題して市民の方が作ったお弁当の写真とアピールポイントを募集し、展示を行いました。



弁当部門 (一般) で 10 作品、キャラ弁部門で 3 作品の応募がありました。ご提出いただいた写真をお弁当箱のように加工し、お弁当屋さんをイメージして展示しました。

<音訳講習会>

利用支援サービス登録協力員のスキルアップを目的として、音訳講習会を開催しました。講師には遠藤美枝子さんをお招きし、対面朗読について実践を踏まえながら学びました。

◆音訳講習会

[開催日時]

- ①平成 31 年 3 月 5 日(火)午後 1 時 30 分~3 時 30 分
- ②平成 31 年 3 月 14 日(木)午前 9 時 30 分~正午

[開催場所]

- ①読書調査室
 - ②中央公民館 2 階 講座室
- [参加者] ①15 名 ②6 名



3 月 5 日の音訳講習会では対面朗読の基礎や挿絵の説明の仕方を学びました。また初見で読む実践を行い、音訳技術の向上を目指しました。

3 月 14 日には講師に小畑信夫氏をお迎えして、図書館ボランティア養成講座「図書館ボランティアってなあに？」を開催し、協力員としての心構えや注意点を再確認しました。

<高齢者施設への配本>

30年度は、4施設に料理本や手芸本を数冊入れた構成で計600冊お届けしました。利用施設職員からは、「活字文化で育ち生活してきた方々は読書がお好きです。大きな文字は読みやすいと好評です。」との声があがっています。31年度は配本する施設数の増加を目指しています。

配本施設名	冊数	配本日
狛江共生の家	150冊	5/8(配本のみ)
こまえ苑	150冊	7/3、9/6
グランダ狛江参番館	150冊	11/6、1/8
ラヴィーレ狛江	150冊	3/5(回収のみ)

<利用支援サービス事業実績>

録音資料は利用者が利用しやすいよう、DAISYのタイトルを点字で表記したり、拡大した文字でわかりやすくするなど利用者の要望に合わせて、用意しています。昨年度より録音資料の利用者が増加し取り寄せタイトル数もそれに伴い増えています。対面朗読は30年度後半より利用者が増えたため、対応する協力員の養成が課題となっています。

◎ 30年度利用登録者数（複数登録あり）

登録サービス名	登録者
録音資料の貸出	20人
点訳資料の貸出	5人
視覚障害者用情報機器の貸出	12人
対面朗読	17人
宅配サービス	11人

◎ 宅配サービス実績

	配本回数	タイトル数
録音資料	2回	3
点字資料	0回	0
その他	15回	35
合計	17回	38

※その他には狛江市所蔵のCD、カセットを含む

◎ 登録協力員数

音訳者	13人
対面朗読者	14人

◎ 対面朗読実績

延べ回数	26回
時間数	52時間

◎ 録音資料・点訳資料

① 蔵書数

(単位:タイトル数)

	総数	うち30年度		
		製作	購入	寄贈
カセットテープ・CD	223	0	0	0
DAISY	247	2	0	4
点字資料	57	2	10	0

② 貸出件数

(単位:タイトル数)

	カセットテープ CD	DAISY	点字資料
個人への貸出	15(15)	118(115)	0
他市区等への貸出	0	8	0

※カッコ内は相互借受分

5 図書館活動を支える人たち

今日の図書館において、より細やかな図書館サービスを目指しそれを実践する上で、市民ボランティアの存在は必要不可欠です。図書館利用者の一人でもあるボランティアの方々が、日頃の活動を通じて、図書館をより理解していただけるような取組みになることを願っています。

<市民グループの活動>

中央図書館では、おはなし会事業や音訳・対面朗読など、それぞれの分野で活動する市民グループの方々と長きにわたって協働してきました。定期連絡会や講座・研修会などを通じて、各グループと図書館職員が交流しながら、図書館利用者へのサービス向上に努めています。

活動区分	活動グループ	活動開始時期	活動者数
おはなし会	狛江おはなしの会くーすけ	平成 10 年	10 人
資料製作	布の絵本製作ボランティアはなみずき	平成 16 年 3 月	6 人
	狛江絵本点訳の会コスモス	平成 25 年 4 月	8 人

<図書館ボランティアの活動・養成講座>

平成 22 年 10 月、図書館活動への参加に意欲のある市民を対象に、図書館ボランティア養成講座を実施して個人のボランティア登録制度を開始しました。30 年度は、翌年度に向けて新たにおはなし会に協力参加してくださる方を募るための養成講座を「児童行事実技講座」の一環として実施しました。



スキルアップ研修では、講師による基調講演の後、各人の活動報告や意見交換を行いました。

活動区分	主な内容	活動実績	活動者数
図書修理	① 資料の補修や破損修理など	119 日、594 冊を修理 (週 3 日、1 回 3 時間程度)	11 人
	② 比較的軽微な破損修理など	73 日、1,392 冊を修理 (週 2 日、1 回 3 時間程度)	8 人
館内整理	新聞・雑誌の整理整頓、書架整理	182 日 (開館前 1 時間程度)	11 人
資料整理	地域関連記事のクリッピングなど	74 日 (月 6 日、1 回 2 時間半程度)	12 人

事業名	日程	参加人数
図書館ボランティアスキルアップ研修 講師:小畑信夫さん(図書館・メディア研究所代表)	3 月 14 日	28 人

各地域センター図書室の取組み

<野川地域センター図書室>

実施日	取組みと内容	備考
6月28日～7月7日	七夕かざり 短冊に子どもたちの願いごとを書いて笹につけてもらう	
6月29日	七夕おはなし会(協力:テラコヤ3、リトルツリーズ) パネルシアター「6月のうたあめ/かえるの合唱」 絵本「ボートにのって」「ぴょん」 紙芝居「キラキラぼしのたなばた」 親子工作「ぴょんぴょんカエル」	親子 34名
7月11日～8月31日	夏休み課題図書等展示	
7月21日～9月2日	地域センター図書室の午前中開室の実施(8/7-16は通常開室)	
8月1日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	2名
10月7日～10月22日	リサイクル事業 野川地域センターまつりにて廃棄本の無料配布(7日) 図書室前にて廃棄本の無料配布(7日～)	800冊
10月26日	仮装で楽しむおはなし会(協力:テラコヤ3、リトルツリーズ) 親子工作「ペロペロキャンディ」 絵本「はらぺこあおむし」 紙芝居「盗まれたパンプキンパイ」	親子 70名
12月4日	クリスマスおはなし会(協力:テラコヤ3、リトルツリーズ) パネルシアター「あわてんぼうのサンタクロース」 親子工作「クリスマスリース」 絵本「クリスマスのかくれんぼ」 「まどから★おくりもの」	親子 104名
3月7日～3月31日	セカンドブック事業対象図書の展示 サードブック事業対象図書の展示	
通年	別置・展示 新着図書紹介コーナー 絵手紙紹介コーナー 「このほんしってる?2018」紹介コーナー 「赤ちゃんに贈るファーストブック」紹介コーナー その月の行事等に合わせ、関連する絵本を展示 「作家特集かこさとしさん」「母の日おかあさん」「父の日おとうさん」 「おばけ」「うみのなかま」「たべもの」「ハロウィン」「恐竜」 「クリスマス」「干支いのしし」「ねむたい」「おまつり パーティ」	

<上和泉地域センター図書室>

実施日	取組みと内容	備考
7月18日～9月2日 7月21日～9月2日 8月1日	夏休み課題図書等展示 地域センター図書室の午前中開室の実施(8/7-16は通常開室) 子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	1名
10月・3月	リサイクル事業 センターまつりにて廃棄本の無料配布(一般書)(10/14～) 図書室前にて廃棄本の無料配布(雑誌)(3/1～)	664冊 383冊
12月	クリスマス展示 クリスマスツリーの飾り付け 関連図書の展示	
3月7日～3月31日	セカンドブック事業対象図書の展示 サードブック事業対象図書の展示	
通年	書庫保管本のリストを作者別に掲示 緑野文庫(緑野小学校推薦図書)の展示 「このほんしってる?」展示 新着図書紹介コーナー 毎月テーマを決めて本(児童・一般)を展示	

<岩戸地域センター図書室>

実施日	取組みと内容	備考
6月29日～7月7日	七夕かざり 短冊に願いごとを書いて笹につけてもらう	
7月1日～8月31日	夏休み課題図書等展示	
7月21日～9月2日	地域センター図書室の午前中開室の実施(8/7-16は通常開室)	
8月2日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	3名
8月24日	夏休みこども教室 「モザイクゼリーとチョコレートケーキ」 関連図書の展示	子ども20名
10月28日～11月10日	リサイクル事業 岩戸地域センターまつりにて廃棄本の無料配布	約400冊
12月	クリスマスの展示 クリスマスツリーの飾り付け 関連図書展示	
3月7日～3月31日	セカンドブック事業対象図書の展示 サードブック事業対象図書の展示	
通年	本の展示 新着図書コーナー(一般・児童) 図書館で会える絵本(3～6歳に読んでほしい絵本) 小学生向け推薦図書の展示「読書のみちしるべ」 その月の行事に合わせ、関連する絵本を展示	

<南部地域センター図書室>

実施日	取組みと内容	備考
6月27日～7月7日	七夕かざり 短冊に願いごとを書いて笹につけてもらう	
7月4日	子ども七夕会(協力:人形劇サークルぶんぶん) 人形劇「すてきな三人組」 パネルシアター「七夕のおはなし」ほか	子ども 82名 大人 47名
7月20日～8月31日	夏休み課題図書等の展示	
7月21日～9月2日	地域センター図書室の午前中開室の実施(8/7-16は通常開室)	
8月1日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	3名
11月3日～11月12日	リサイクル事業 南部地域センターまつりにて廃棄本の無料配布	1158冊
12月12日	子どもクリスマス会 人形劇(協力:人形劇サークルスーパ) 「3びきのこぶたのちよっとちがったお話」ほか 午前:乳幼児対象 午後:幼児～小学生低学年	午前: 親子 86名 午後: 子ども 66名 大人 29名
4月～3月 (7・8・12月は除く)	親子で楽しむおはなし会 小川美枝子さん(図書職員) 全9回実施	子ども 186名 大人 213名 平均 44名
3月7日～3月31日	セカンドブック事業対象図書の展示 サードブック事業対象図書の展示	
通年	本の展示 新着図書コーナー 絵本コーナーにその月の行事等に合わせ、関係する絵本を展示	

施設概要

館・室名	開館年月日	所在地	面積 (㎡)	閲覧席
		電話		
中央図書館	昭和 52 年 11 月 23 日	和泉本町一丁目 1 番 5 号 市民センター1F	1,310	一般 40 児童 10
		03-3488-4414		
野川地域 センター図書室	昭和 51 年 6 月 2 日	西野川一丁目 6 番 9 号 野川地域センター1F	108.0	12
		03-3480-2211		
上和泉地域 センター図書室	昭和 53 年 8 月 3 日	和泉本町四丁目 7 番 51 号 上和泉地域センター2F	131.7	12
		03-3489-9101		
岩戸地域 センター図書室	昭和 53 年 7 月 23 日	岩戸南二丁目 2 番 5 号 岩戸地域センター1F	86.6	2
		03-3488-7040		
南部地域 センター図書室	昭和 58 年 4 月 3 日	猪方四丁目11番 1 号 南部地域センター1F	119.0	10
		03-3489-2150		
西河原公民館 図書室	平成 18 年 8 月 11 日	元和泉二丁目 35 番 1 号 西河原公民館 1F	174.8	一般 46 AV 4
		03-3480-3201		

登録番号 H31-20

平成 30 年度図書館・図書室事業報告書

令和元年6月発行

発行・編集 狛江市教育委員会教育部図書館
〒201-8585 狛江市和泉本町一丁目1番5号
電話 03(3488)4414
<https://www.library.komae.tokyo.jp/>

印刷 庁内印刷

頒布価格 無償